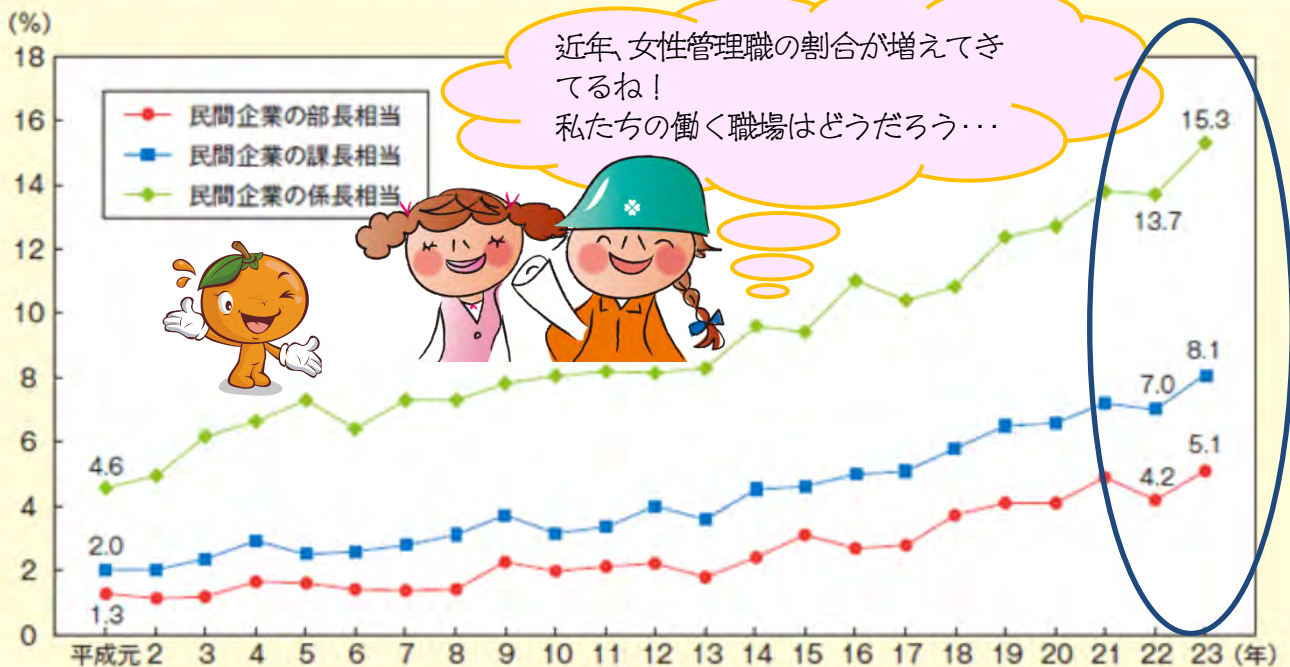




管理職に占める女性の割合って どのくらい? (企業規模 100 人以上)

第1-3-12図 役職別管理職に占める女性割合の推移



出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

土木提言

国交省本省へ提言を実施!

地方整備局では解決困難な課題を
国交省本省に訴える!

企画・立案

建設産業に女性技術者が 増えるための課題は?

2013年度「第1回女性技術者会議」を開催!

コラム

休日の楽しみ～お城巡り編～

五洋建設労働組合 内田 舞さん

次号予告

■産業政策活動

2013年11月土閉結果

■提言活動

■コラム

お知らせ

「Roadmap48」とは

建築工事の4週8休(週休2日制)での工期設定の実現や、公共工事における労働条件向上と諸課題の解決にむけた提言活動など、日建協の活動を組合員の皆さんに知っていただくための広報誌です。

①組合活動の資料として、②職場での情報交換の材料としてご活用ください。

次号の予定は変更する場合があります。

この広報誌は日建協ホームページからダウンロードできます。

<http://nikkenkyo.jp>

国交省本省に提言を実施！

日建協は、2013年11月、土木作業所で働く組合員の労働負担軽減を求め、国交省本省に対して総括的な提言活動を行った。

今回の提言では、以下にしめす4つの課題を中心に各地方整備局から得られた回答内容を伝え、これらの問題解消の早期実現を強く求めた。1. 総合評価落札方式のあり方（改定は、基本理念に沿ったものとするべき）、2. 工期設定のあり方（現場条件を加味したものとするべき）、3. 施工円滑化にむけた施策の運用（認知度を高め、各地整での運用のばらつきを無くすべき）、4. 片務性について（片務の体質を解消すべき）

提言には、国交省大臣官房技術調査課より担当者が出席し、各地方整備局の状況および調査結果を真摯に受け止め、適切に対応すると語った。

これにより昨年5月から実施してきた全国8地方整備局および北海道開発局、国交省本省の提言活動が一区切りしたことになる。2014年、産業が大きな転換期を迎える中、組合員の労働環境改善にむけた更なる提言活動の充実が期待される。



★トピックス★

日建協ではこれまで、国交省を中心に提言活動を進め一定の成果を上げてきたが、「他の発注機関に対しても直接提言を行うべき」との加盟組合員の声が多かったことから、新たな提言先の検討に入った。

休日の楽しみ



五洋建設労働組合
内田舞さん

お城巡り編

私は建物を観ることが大好きです。その中でもお城を観ることが特に好きなのですが、きっかけは入社後初めての夏季休暇で行った大阪城でした。さわやかな緑色の屋根に堂々とそびえ立つ出で立ちに、思わず「かっこいい！」とひと目ぼれ。それを機に近場？では、小田原城や名古屋城、時には少し遠方の松山城や松本城などにも、グルメ探索も兼ねて会社の同期や友達を誘って行っています。

お城全体の佇まいは勿論好きなのですが、その中でも私が特に心揺さぶられるのは、「石垣」です。建立当時は今とは比較にならないほど技術は乏しかったはずですが、あのように美しく、そして現在に至ってなお強固にたたずむ石垣を機械の力を殆ど借りずに人力で積み上げたことを考えると、その光景を想像するだけで感嘆するとともにロマンを感じます。

そもそも「社会に大きく貢献できる仕事がしたい」という思いと、「建物を観るのが好き」という趣味が高じて建設会社に入社した私ですが、たくさんの人のために社会基盤を整備する仕事に携わることができて、「本当に建設産業で働けて良かった」と日々喜びをかみしめています。

最近では、社内の同じ趣味を持つ仲間とお気に入りのお城の写真を交換するなど、お城を通じたネットワークも広がりつつあります。行けていない憧れのお城もたくさんあるので、これからも時間を見つけてひとつでも多くの城を制覇していきたいと思っています！

2013年度

「第1回女性技術者会議」開催！

建設産業に女性技術者が 増えるための課題は？



〇一三年度一回目となる女性技術者会議が二二組合から一六名の女性技術者に、東洋大学で建築を学ぶ学生一名をオブザーバーとして迎え総勢一七名で開催された。

会議は、女性技術者が増えるための課題について、過去の女性技術者会議での討議内容を確認した後に個人ワーク、グループ討議、発表の順に進められ、白熱した議論が展開された。

発表では、女性技術者が増えるための、働き続けるためには、「男性の意識改革が十分」、「家庭を持つ上で、就労時間が長すぎる」、「セネコン、建設産業自体が男性社会のイメージが強く女性にとって就職の選択肢からはずれてしまいう」、「学校で施工分野についての授業が少ない」など複数の課題が挙げられた。

日建協では、二回目の会議を4月に予定しており、その中で今回の会議で挙げた諸課題の解決にむけた討議を行う。

産業の明るい未来には女性の活躍が不可欠である。このような活動を通して産業界に女性が増えることが期待される。

